

K A K E G A W A

かがわ 第 8 号

市議会
だより

平成18年11月1日

編集/発行 掛川市議会

静岡県掛川市長谷1丁目1番地の1

☎ 0537(21)1160

<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/>

おもな内容

CONTENTS

- 9月定例会の概要 2ページ
- 議案の審議結果 4ページ
- 議案質疑 5ページ
- 一般質問 6ページ
- 傍聴席/11月定例会の予定 12ページ



実りの秋を満喫! 笑顔もいっぱい!

原田小学校の児童が稲刈りに挑戦。
ぬかるみに足を取られながらも
一生懸命に収穫。
田んぼには、子どもたちの笑顔が
溢れていました。

平成17年度

一般会計歳入歳出決算など 各種会計決算を認定

平成18年第5回(9月)定例会は、9月4日から9月29日まで26日間の会期で開かれました。
 今期定例会には、平成17年度掛川市一般会計ほか各会計歳入歳出決算の認定を初め、
 補正予算や条例案など32議案が提出され、いずれも原案のとおり認定・可決されました。
 また、「障害児福祉サービス等利用者負担の軽減に関する意見書」他意見書2件と
 「飲酒運転根絶に関する決議」が全会一致で可決されました。

会計別の決算状況

会計名		歳入合計	歳出合計
一般会計		451億4,531万円	427億1,750万円
特別会計	国民健康保険	89億8,037万円	86億317万円
	老人保健	88億3,374万円	88億7,663万円
	介護保険	60億2,250万円	59億177万円
	公共用地取得	5億2,313万円	3,341万円
	駅周辺施設管理	1億4,505万円	1億4,121万円
	簡易水道	2,316万円	1,557万円
	公共下水道事業	36億763万円	35億9,743万円
	農業集落排水事業	12億7,349万円	12億7,349万円
	浄化槽市町村設置推進事業	5,955万円	5,955万円
	温泉事業	2億299万円	1億9,809万円
	上西郷財産区	309万円	38万円
	桜木財産区	41万円	27万円
	東山財産区	505万円	249万円
	佐束財産区	1,157万円	1,072万円
天浜線経営助成	6億7,895万円	6億7,895万円	
合計	755億1,599万円	721億1,063万円	

決算議案については、一般会計、特別会計の二つの決算特別委員会を設置し、審査に付されました。
 一般会計決算特別委員会（八木宏之委員長）は、九月二十一日、二十二日の二日間、特別会計決算特別委員会（雑賀祥宣委員長）は、九月二十一日に開催され、審査の結果いずれも原案のとおり認定すべきものと決しました。



9月定例会の経過

- 4日 本会議 平成十七年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算、平成十八年度一般会計補正予算等各議案の市長提案説明及び監査委員の審査説明
- 12日 本会議 一般質問
- 13日 本会議 一般質問
- 14日 本会議 議案質疑、一部議案採決。議案・陳情常任委員会付託。一般会計・特別会計決算特別委員会設置、付託。常任委員会 付託議案・陳情審査
- 21日 一般会計及び特別会計決算特別委員会 付託議案審査
- 22日 一般会計会計決算特別委員会 付託議案審査
- 29日 本会議 決算特別委員会・常任委員会委員長報告、質疑、討論、採決。組合議員選挙。陳情審査結果報告。意見書採決。決議採決。議員派遣採決。

❖ 決算特別委員会委員長報告 ❖

9月29日の本会議において、各種会計決算特別委員会の審査経過及び審査結果が、各委員長より報告されました。ここでは、その一部を掲載いたします。

特別会計決算特別委員長報告(抜粋)

掛川市の特別会計は15会計があります。中には老人保健特別会計のように国の制度として高齢者の医療費支払いを行うために設置された会計や、合併前から引き継ぎの、財産区の管理、処分の経理をする財産区特別会計が4会計あります。

国民保険特別会計

問 新市になって、国保税が大幅に引き上がったようなことはないか。

答 それぞれの世帯で違いがあり、軽減を受けることができる低所得者層は下がっている。軽減をうけない世帯は税額が上がっているが一般会計から2億4千万円を法定外の繰り入れをしたので、最高でも9%増の伸びとなっている。

介護保険特別会計

問 施設入居者の食事代などが有料となり、施設を出ざるを得なくなった問題や、今まで貸与されていた介護用器具等を返さなければいけなくなったと聞くと、当市の実態は。

答 低所得利用者負担第一から第三段階の方は、特定入居者介護サービス費で補填しており以前と変わらない。福祉用具の貸出については、ケアマネージャーなど関係者の意見を聞いて対処していきたい。

下水道事業特別会計

問 下水道計画の見直しは出来るか。

答 時間的にかかると考える。補助金の返還ということにもなりかねない。整合を図りながら対策を講じていきたい。

浄化槽市町村設置推進事業特別会計

問 設置に関して、個人の平均負担額は。

答 浄化槽自体は市で設置する。宅内の排水等は個人で整備していただく。個人差があるが、平均80万円くらいと考える。

問 個人設置型と市設置型の整合性と市の方針は。

答 今後、市では年間400基の設置を予定している。管理組合方式等も含めてよく検討していきたい。

温泉事業特別会計

問 大東温泉の入湯料950円は他市町の施設に比べ高くないか。

答 今後検討していくが、プールもあり、プールとセット料金では高くない。さらに市民の皆様には割引券も発行している。

一般会計決算特別委員長報告(抜粋)

歳入

問 市税および市営住宅使用料の滞納状況について。

答 悪質滞納者というより納税意識の薄い方が多い。未納者の多い地区もあるが、市税等の滞納整理に合わせ、指導をしていく。

歳出(総務費)

問 合併初年度ということで、人材育成費や専門研修費に関して何か問題はあったか。

答 昨年は「職員の融和」を主眼に研修を行った。他市と比較してもスムーズに融和が出来ていると感じる。

歳出(民生費)

問 ひとり暮らし老人緊急通報システム設置事業の効果はどうか。

答 緊急時に使うという性質上、あまり利用が多くても好ましくないが、設置することにより安心度が高まるということで、利用者には大変喜ばれている。

歳出(衛生費ほか)

問 調理師協会補助金やタバコ組合補助金、他にも17年度新しく付けたり、増額したのに、不用額が出ている補助金がある。今後、予算を組む時には、これらの結果をきちんと検証する必要があるのではないか。

答 これら補助金が不用額になった理由をよく確かめる。ケースバイケースではあるが、今回不用額になったものについては、次年度以降はよく考えていきたい。

歳出(農林水産業費)

問 農業が停滞する中、道の駅とサンサンファームはよく検討しているが、市としてももう少し応援をするべきでは。

答 道の駅はサンサンファームと性格が異なり、公で関わっている面もあり、あまり他を圧迫するようなことがあってはならないと考える。しかし、両施設とも、来た人に満足してもらえるよう、市としてもできるだけ応援していきたい。

歳出(土木費)

問 河川の草刈りは、現状、区で対応しているが、危険な箇所もあり、市としても対応が必要ではないか。

答 河川の環境整備については、来年度の予算編成に向け、現在知恵を絞っている。安全な草刈りができるように検討している。

歳出(教育費)

問 芸術文化振興費について、市内には数多くの団体があるが、どういう基準をもって支援するのか。

答 基準となると大変難しいが、際限がなくなるので、ある程度の水準のものでないと難しい。市民の自主的な文化活動は素晴らしいものであるため、類するものがあれば、援助していきたい。

❖ 9月定例会における議案の審議結果一覧 ❖

議案番号	議案名	議決内容
議案第105号	平成18年度掛川市一般会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第106号	平成18年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第107号	平成18年度掛川市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第108号	平成18年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第109号	平成18年度掛川市温泉事業特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第110号	平成18年度掛川市病院事業会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第111号	掛川市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定について	原案可決
議案第112号	消防組織法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第113号	掛川市職員の退職手当に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第114号	掛川市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
議案第115号	掛川市立学校校設置条例及び掛川市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第116号	掛川市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第117号	東遠学園組合規約の変更について	原案可決
議案第118号	平成18年度掛川市公共下水道大東浄化センター建設工事委託契約の締結について	原案可決
議案第119号	平成18年度車両整備事業化学消防ポンプ自動車購入契約の締結について	原案可決
議案第120号	掛川市道路線の認定について	原案可決
認 第 3 号	平成17年度掛川市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 第 4 号	平成17年度掛川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 第 5 号	平成17年度掛川市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 第 6 号	平成17年度掛川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 第 7 号	平成17年度掛川市公共用地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 第 8 号	平成17年度掛川駅周辺施設管理特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 第 9 号	平成17年度掛川市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 第 10号	平成17年度掛川市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 第 11号	平成17年度掛川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 第 12号	平成17年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 第 13号	平成17年度掛川市温泉事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 第 14号	平成17年度上西郷財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 第 15号	平成17年度桜木財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 第 16号	平成17年度東山財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 第 17号	平成17年度佐束財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 第 18号	平成17年度天竜浜名湖鉄道経営助成特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議 発 第 9 号	「障害児福祉サービス等利用者負担の軽減に関する意見書」の提出について	原案可決
議 発 第 10号	「医師・看護師等の確保に関する意見書」の提出について	原案可決
議 発 第 11号	「乳幼児医療費無料制度の創設を求める意見書」の提出について	原案可決
議 発 第 12号	「飲酒運転根絶に関する決議」について	原案可決
陳 情 第 4 号	「共謀罪の新設について国民的な議論と合意の尊重を求める意見書」提出に関する陳情書	不 採 択
陳 情 第 5 号	安全・安心の医療と看護実現のため「医師・看護師等の確保に関する意見書」採択を求める陳情書	採 択
陳 情 第 6 号	「乳幼児医療費無料制度の創設を求める意見書」採択を求める陳情書	採 択
陳 情 第 7 号	掛川城ドラマ館内展示物の保存に関する陳情書	継続審査
陳 情 第 8 号	「障害者自立支援法における地域生活支援事業」実施に伴う掛川市の支援策を求める陳情書	採 択
陳 情 第 9 号	「障害者自立支援法における地域生活支援事業」実施に伴う掛川市の支援制度制定を求める陳情書	採 択

議案質疑

●平成十七年度掛川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

問 過去五年間の滞納世帯の推移は。

答 平成十三年度は、加入世帯数一万七千二百二十六世帯のうち、滞納世帯数が二千五十六世帯。平成十七年度は、加入世帯一万九千三百三十五世帯のうち滞納世帯が三千五百九十八世帯となっている。過去五年の推移を見ると、加入世帯が増えるとともに、滞納世帯数も増えている。

●平成十八年度車両整備事業化学消防ポンプ自動車購入契約の締結

問 入札結果の落札率は。

答 落札率は九十九・九三％となっている。なお、入札結果については、当市では、ホームページにて、すべて公表している。

●平成十七年度掛川市一般会計歳入歳出決算の認定

問 工業用水における見通しと、責任水量制の展望があるのか。また上水道への影響は。

答 平成二十四年度の変更水利権取得により、責任水量に応じた市の支援が発生する可能性がある。企業誘致等を積極的に図り、責任水量の供給を完了したい。水道部の試算によると、上水道使用料の減額は、年間二千七百四十五万円となる見込みである。

●平成十八年度掛川市一般会計補正予算（第二号）

問 障害者自立支援法施行に際して、歳入・歳出における減額はいくらか。

答 補正予算編成時には、国庫負担金等の詳細な負担基準が示されていないため、明確になっていない予算のみを編成した。歳入は、二百五十六万九千円の減額、歳出は、千三百三十八万八千円の増額となっている。

可決された意見書(要旨)

乳幼児医療費無料制度の創設を求める意見書

わが国の合計特殊出生率は、1.25を割るところまで低下し、まさに危機的な水準となっている。この少子化の進行は、人口構造の高齢化や将来の生産年齢人口の減少にもつながり、子どもの健全な成長への影響のみならず、社会経済や社会保障のあり方にも重大な影響を及ぼすことが懸念される。こうしたことから、子育て家庭の経済的負担を軽減する措置が少子化対策の重要施策となっており、各市町村において乳幼児・児童医療費助成制度が実施されているが、市町村の制度内容の格差が年々拡大している状況である。地方公共団体の施策を一層充実させ、子どもを安心して産み、育てることのできる社会の実現をめざすには、地方制度の安定化が必要であり、そのための国による支援が不可欠である。よって、政府におかれては、当面、義務教育就学前児童に対する医療費無料化制度を早期に創設されるよう強く要望する。

(提出先：内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、財務大臣)

医師・看護師等の確保に関する意見書

県内の医療機関における医師・看護師の不足は深刻化し地域医療の確保に重大な影響を与えている。地域住民が安全・安心でゆきとどいた医療・看護を受けるためには、医師・看護師の就業条件の改善と医療機関へのコスト保障が必要である。よって、国においては、必要な医師・看護師が地域医療機関において十分に確保されるよう、下記について特段の措置を講ずるよう強く要望する。

記

- 1 医師・看護師の就業条件の改善と確保対策を抜本的に強化すること
- 2 看護師の夜勤日数上限規制について法整備を行うこと
- 3 医師・看護師の配置基準の改善を行うこと

(提出先：内閣総理大臣、厚生労働大臣、総務・郵政民営化大臣、文部科学大臣、財務大臣、衆議院議長、参議院議長)

障害児福祉サービス等利用者負担の軽減に関する意見書

幼少の障害児を持つ保護者は、若年令者で低所得者が多く、その上、障害児を抱えての厳しい現実（日常生活）を勘案すると、大きな経済負担（従来の3倍を超える）は、必要な福祉サービス等が受けられず、障害の早期発見や療育の機会を逸し、障害児並びに保護者の大切な拠り所を失うことにもなる。更には、障害児を障害者として一元的に認めることにより、児童として受けられる権利やサービス等が受けられないという不平等も生じるおそれがある。よって、国におかれては、下記の事項について特段の配慮をなされるよう強く要望する。

記

- 1 障害児が地域の中で必要な福祉サービス等が確実に受けられるよう財源措置を講ずること
- 2 自立支援法によって生じる過大な障害児の保護者負担が従来の水準となるよう軽減制度を講ずること

(提出先：内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長)

一般質問

Q & A

●質問部分は、質問者本人が作成しました。

戸塚久美子（みどりの会）

茶業の将来展望

Q 厳しい茶業環境の中で、茶業デカップリングの研究や、富士山空港開港を目前にして世界緑茶集積基地としての茶市場を掛川に誘致すること等の検討が必要と考えるがいかがか。

※デカップリング……生産条件不利地域に対する直接所得補償「直接支払制度」

A 今後お茶の価格が国際価格へと移行していく場合、中山間

9月定例会では、医療費の抑制対策、高齢者と障害者の税軽減、救急医療の見直し等について、9人の議員が一般質問を行いました。

地域の茶業はますます厳しい状況になることが予想される。デカップリングは、厳しい財政状況の中では実現性が低く、産地ブランド化による付加価値の高いお茶を推進していくことが当面進むべき課題と考える。しかし、県にも進言していきたい。緑茶集積基地については、他市町の対応に乗り遅れることのないように進めていかなければならない案件と認識している。

市民農園整備

Q 市民農園が、耕作放棄対策及び都市からの交流による地域活性化へ有効な手段であるが、当市の方針や推進体制はいかがか。

A 県で整備した「市民農園開設マニュアル」に従い、推進を

していきたい。さまざまな運営方法が可能であることから、各地域にある「農業やる気塾」や農業関係者の意見を聞きながら、検討していく。

【他の質問事項】

第二東名高速道路PA活用



中山間地の茶園（松葉）



山を切り開き、この道を西へつなげたい
【都市計画道路、掛川駅・梅橋線（長谷地区）】

本年度地方交付税の不交付団体になるというが

大庭博雄（親和会）

◎ 新聞報道によれば、「わが市は普通交付税の不交付団体になった」これは年度で基準財政収入額が必要額を上回る自治体であると格付けされたものである。市の財政の現状をどのように認識し、今後をどのように展望しているか。

A 財政状況は依然として厳しいと感じるが、将来に対して悲観はしていない。できるだけお金を効率的に使い、返していかなければならない債務についてもきちっと履行していく。

西部地域の都市計画は

◎ 旧掛川西部地区は、商・工・住地域に発展しつつあるが、道路・交通整備が遅れている。今後の計画はいかがか。

A 当地域は、大動脈が何本も通っており、当市にとっては交通要衝地区である。主要道路西環状線も計画されており、今後策定される新市道路整備計画に基づき整備を進めていきたい。

障害者自立支援法に市の独自支援策を

水谷陽一（日本共産党）

◎ 十月から障害者自立支援法が本格実施される。関係者から問題点がたくさん出されているが定率・自己負担が障害者サービス利用の抑制や後退につながらないよう、国の軽減策に加えて、(一)市独自支援策の検討はどうか。(二)障害者福祉計画作成に当たっては、障害者の参加はどうか。

A (一)介護給付や訓練等給付についての減免措置は現時点では考えていない。ただし、内容、条件等を独自で決めることのできる地域生活支援事業については、利用者負担軽減について積極的に対応したい。(二)障害をお持ちの方の意見、ご希望は福祉サービスを推進する上で一番の重要事項のため、何らかの形で参加いただくよう配慮したい。

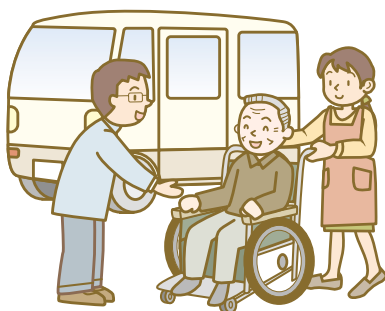
高齢者と障害者の税軽減を

◎ 高齢者の税負担が社会問題になっている。介護認定者を対

A 掛川市では、平成十四年の厚生労働省からの通知に基づき認定を行っている。申請があれば対象者を面接、その結果を障害程度等級一覧表と照合し障害程度を認定している。今年度も引き続き広報に掲載し、より一層の周知に努めたい。

【他の質問事項】

地域防災、掛川市立病院、救急医療



K君を救うために市長の政治決断を求める

堀内武治（みどりの会）

Q 高校部活動中の脊髄損傷事故により、自発呼吸もできない全身マヒの中で、必死に生きようとして頑張っている青年がいる。いま、彼を受け入れてくれる病院がなく窮地に陥っている。

二十四時間の医療支援、介護を必要とする患者を長期にわたり受け入れる病院がない日本の医療制度の貧困が問題である。彼を救うため市長として積極的行動と市立病院受け入れの政治決断を求める。

A 市長としての最終決断を申し上げる段階ではないと思う。

まずは、現在入院している病院に赴き、少しでも長くそこで治療が受けられるようお願いしていきたい。現在の市立病院の医療レベルや役割を考えると、受け入れは難しい。しかし、望みを持つて進めるよう、ありとあらゆることの努力をいたしたい。

【他の質問事項】 財政状況

雑賀祥宣（親和会）

指定管理者制度の運用とその後

Q 三十八の施設が二十二の指定管理者に指名委託された。(一)市民の反応はいかがか。(二)下請け業者に再委託はされていないか。(三)他の施設においても、委託を考えているか。

A (一)市民が市の直営と間違える可能性があるので、指定管理者制度がどういうものか、広報そ

の他、いろいろな機会を通じて周知徹底したい。(二)再委託しているものはない。(三)将来的に検討したいと思うが、急ぐ必要はないと考えている。

自治会運営と区長の任務

Q 大東地域の自治会に対して、旧掛川市で行われている地域

学習センターの運営についての説明はされているか。また、区の役員に対して補助金、活動奨励金の活用についての説明は。

A 昨年度末、地区組織の重要性、地区センターの意義について、地区区長会長に説明した。本年度、役員交代により、改めて地区単独あるいは複数地区合同で説明会を開催した。

区長会連合会で作成している「区長ノート」に各種補助制度をわかりやすく説明するなどして、各自治区に大いに活用していただきたい。

【他の質問事項】
海岸・河川の漂着物

東堂陽一（親和会）

掛川市の救急医療の見直しに関して

Q 市立病院は十月一日から平日夜間などの一部時間帯で一次

救急を停止する。背景には医師不足とそれに伴う常勤医の過重負担



指定管理者に委託している文化会館シオーネ（大東地域）



掛川市立総合病院

があり、また本来、救急とは言い難い患者が八割もあるという。医師確保と救急現場の実情を伺い、問題点と解決策を問う。

A 医師確保については、関連する医局にお願いしていくが、大学が医師を派遣する力が弱くなってきたのも事実である。

そのため、ホームページを充実させることはもとより、あらゆる手段を使って、病院独自で医師を集めていく努力を重ねていく。

新教育長に問う

Q 学校教育についての所信と抱負、課題として捉えていることを伺う。

とを伺う。

A 教育の本来の役割は、子供たちが夢や大望心を育み、形にできるように手助けをすることであると考えている。したがって、学校は児童生徒の夢づくり工房であってしかるべきである。学校現場を大切に、学校のパートナーとして教育行政を展開したい。

【他の質問事項】
市町村再合併

アパートの諸問題に関する市の対応は

鷲山喜久（日本共産党）

Q アパートの部屋数より敷地内駐車場が少ないために、置き場のない車が市道に駐車している。区費も納入されず困る等々。市としての対策はあるか。

A 市は、昨年度「アパート施策推進本部」を設置し、ご指摘の点等について、継続検討している。十月には、アパート所有者・管理会社、入居者、人材派遣会社等を含めた「地域共生推進協議会」を立ち上げ、解決策を協議する予定であり、区長会連合会でも内部組織のアパート問題検討委員会にて検討いただいている。



地域共生推進協議会にて委嘱を受ける委員

掛川市日中友好使節団における市長の行動を問う

Q 北京国際キャンプはだれの発案で、市長の参加理由は何か。松本亀次郎氏顕彰はできたか。

A 同キャンプは、中国青年国際人材交流センターが計画したもので、この話を聞いてきたのが私であり、日中韓の子供たちの交流やお茶の件、静岡空港や御前崎港に関してもお手伝いができるなら



掛川市では企業のISO取得を支援しています

との気持ちで顧問として参加した。顕彰事業は、松本亀次郎氏の勉強をすることではなく、日中友好事業の象徴的なものとしてであると考えている。

中学生と連携した防災訓練の取り組みは

豊田勝義（親和会）

Q 原野谷中学校は静岡県教育委員会の指定を受けて「参加型防災訓練推進モデル校事業」に二

年間取り組んだ。その研究成果を、市全域へどのように展開するかを伺う。

【他の質問事項】
大須賀海洋センタープール、国民保護法

A 同校の価値ある取り組みを市内に広めるため、各小・中学校で児童生徒の発達段階に応じて、校内防災訓練や災害図上訓練、救助袋による避難や消火・放水訓練の実施や応急処置の習得を図る等、主体的に地域防災活動に取り組む生徒の育成に努めている。

市民力による環境ISO推進に 対する支援策は

Q 認証取得企業が增える中、行政支援は、中小零

細企業においても大変期待されている。(一)継続する上での支援、取得に対する指導、啓発に関する対応策を伺う。(二)支援ボランティアの充足は大丈夫か。

A (一)環境ISO推進支援事業の活用により、取り組みの評価や計画の見直し、従業員教育等についても、積極的に支援を進めていく。今後も各団体への説明会、

医療費の抑制対策

高塚昌彦（親和会）

Q 医療費の増加により、市財政の圧迫が懸念されるが、本市として強力に医療費の抑制策を講ずる必要はないか。
受動喫煙防止法の施行後の諸施策は評価には値するが、生ぬるい
と考えるがいかがか。

A これまで健康診査や人間ドック事業等により、健康意識の高揚や病気の早期発見・治療を促すことで医療費抑制に努めてきたが、今後も長期的視点に立ち、市民の健康増進、医療費抑制のための各種事業を積極的に推進してい

市のホームページや広報紙等により、積極的にPR活動を展開していく。(二)現在三個人、二企業の登録で、現状の対応は可能であるが、今後も人材の発掘や登録を積極的に進める。

【他の質問事項】
下水・浄化槽による汚水処理、市有地の有効活用

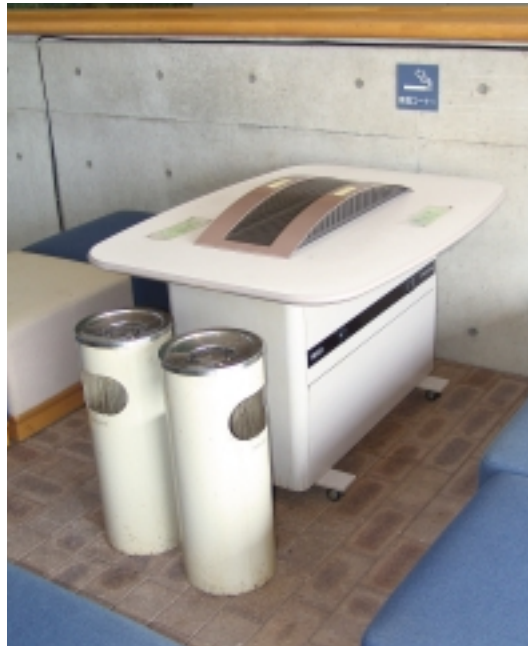
く。
市民の方から強く禁煙を求める投書もあるが、喫煙する方の心理等も考えると、庁舎内の2箇所程度の分煙室設置は理解願いたい。

教職員の資質向上

Q 全国的に教員による不祥事が多発し、教員の質やモラルの低下が憂慮されている。この現状を教育長として、どのように受け止めているか。また、市教育委への指導主事などの配置は十分か。



一般質問について詳しくお知りになりたい方は、市役所ホームページの市議会会議録をご覧ください。
九月定例会の会議録は、十月中旬に掲載を予定しています。



市役所内に設置されている喫煙用空気清浄機

A 他市等の不祥事を対岸の火事視せず、重大に受け止めている。管理職による教職員との面接や研修会の開催等、実効性のある方法により指導の充実に図り、信頼される学校となるよう全力で取り組む。

【他の質問事項】
健康増進、地区センター構想

指導主事は四名で、一人八校を担当する現状にあるが、近隣他市より少なく、充実した体制づくりが望まれる。

飲酒運転根絶に関する決議

全国的に多発する飲酒運転による痛ましい事故に対し、掛川市議会では全会一致で、飲酒運転根絶に関する決議をしました。

交通事故のない安全で安心な社会の実現は、私たち掛川市民共通の願いである。

飲酒運転の危険性については、これまでたびたび指摘され、その根絶に向けて、平成13年には危険運転致死傷罪の新設、平成14年には改正道路交通法による酒酔い、酒気帯び運転の厳罰化が図られたところである。

しかしながら、飲酒運転による死亡事故や人身事故等の発生は、依然として後を絶たない状況にあり、幸せな家庭が一瞬にして崩壊していく悲惨な現実がある。

本年の県内の飲酒運転事故は、これまで186件、死者17名、負傷者278名で、掛川警察署管内では5件、死者1名、負傷者8名という状況にある。

飲酒運転根絶には、運転者・同乗者が飲酒

運転の危険性、違法性、責任の重大性を認識することはもとより、飲ませる側にも責任があり、「飲む人も飲ませる人も許さない」という社会的風潮を改めて徹底させ、その家族や職場、さらには地域が一体となって、飲酒運転を絶対に許さないという強い意志を示さなければならない。

よって本市議会は、ここに改めて強い認識のもと、人命尊重の立場に立ち、安全で安心できる正しい交通秩序の社会の確立を目指し、交通事故抑制はもとより飲酒運転根絶に向けて、決意新たに交通道徳の向上と社会ルールを守る強い意志をここに表明する。

以上、決議する。

平成18年9月29日

議会 日誌



7月

- 18日～20日 ● 経済建設委員会行政視察
- 18日 ● 総務委員会協議会
- 21日 ● 市議会全員協議会
- 31日 ● 東遠学園組合定例議会

8月

- 3日～4日 ● 議員全員東京研修
- 9日 ● 経済建設委員会協議会
● 文教厚生委員会協議会
- 10日 ● 学校教育特別委員会
● 広域行政問題特別委員会

現地視察

- 14日 ● 小笠老人ホーム施設組合協議会
● 掛川市・菊川市衛生施設組合協議会
- 16日 ● 東遠広域施設組合協議会
- 18日 ● 総務委員会協議会
- 22日 ● 市議会全員協議会
- 23日 ● 南北道・幹線道路特別委員会
- 25日 ● 広域行政問題特別委員会
- 28日 ● 議会運営委員会
● 議員懇談会
● 議会だより編集委員会
- 30日 ● 大井川右岸土地改良区理事會
- 31日 ● 東遠地区聖苑組合協議会

9月

- 4日～29日 ● 掛川市議会第五回(九月)定例会
- 12日 ● 議会運営委員会
- 14日 ● 文教厚生委員会協議会
- 19日 ● 広域行政問題特別委員会
- 20日 ● 学校教育特別委員会
● 議会だより編集委員会
- 21日 ● 議会運営委員会
- 29日 ● 市議会全員協議会

10月

- 4日 経済建設委員会協議会
文教厚生委員会協議会
議会だより編集委員会
- 6日 総務委員会協議会
- 11日 議会だより編集委員会

計報

内山周則議員の

「ご冥福をお祈りします。」
去る九月三日、内山周則議員が急逝されました。生前のご活躍に敬意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

【主な経歴】

- ・(旧掛川市)平成7年5月1日～平成17年3月31日(3期) W杯・国体対策特別委員会副委員長 (H13/5～H14/5)
- ・全市生涯学習公園化特別委員会委員長 (H14/5～H15/4)
- ・文教厚生委員会副委員長 (H15/5～H16/5)
- ・中心機能集積特別委員会副委員長 (H15/5～H16/5)
- ・(掛川市)平成17年4月24日～平成18年9月3日(1期) 文教厚生委員会副委員長 (H17/5～H18/5)
- ・議会だより編集委員会委員長 (H18/5～H18/9)

傍聴席

昨年9月14日、市議会定例会を市老連女性部の皆さんと傍聴する機会を得ることができました。翌15日には、地元睦会の会員の中で希望者を募り、天浜線を使って傍聴に行きました。議員さんの質問に対して市長さんはじめ行政側の答弁の様子を目の当たりに見聞き、市政に携わる方々の活動ぶりがよくわかり、自分達も市政に関心を持たなければと思うようになりました。昼食は市役所の食堂

で食べ、皆さんとても生き生きして帰途についたことを思い出しました。私は今年、また定例議会を傍聴しました。その日の午前、一般質問では、市民の健康のこと、教育の振興と教職員資質のこと、中学生と連携した防災訓練のこと、環境のこと、市有地のこと等が質問されました。私たちが選出した議員さんの活躍ぶりを見学することができました。今まで関心を持たなかつ

た私は、たびたび来たい気持ちになりました。そして、何気なく横を見ましたら、昨年と一緒に傍聴した90歳過ぎたSさんがいました。今年また一人で来たと伺い、その熱意にびっくりしました。議会を傍聴することは、市政に対する関心を高める第一歩であることを痛感いたしました。

本郷 野口和子

11月定例会の予定

- 【十一月】
29日 本会議(議案の提案説明)

【十二月】

- 7日 本会議(一般質問)
- 8日 本会議(一般質問)
- 11日 本会議(質疑、委員会付託)
- 14日 常任委員会協議会
- 22日 本会議(委員長報告、質疑、討論、採決)

編集後記

今号から議会だよりが十二ページだてになります。市民の皆様には市政や議会をより身近に知ってもらうためです。この増ページに一番情熱を注いだのが、今は亡き内山周則議員でした。その意思を引き継いで編集委員一同頑張る所存です。市民の皆様のご意見ご感想等をお待ちしています。

〈編集委員〉

- 水谷陽一 ● 高塚昌彦
- 戸塚久美子 ● 大庭博雄
- 豊田勝義 ● 竹嶋善彦